

水銀結晶分離に成功

水俣病
協議会

内田教授(大)が発表

水俣病の原因を究明する第三回水俣病総合調査研究連絡協議会は、二十九日午前十時半から東京都麻布

の第三公邸で開かれ、熊大内田教授が研究の進行状況について、

(一)水俣湾産の「ヒバリガイモド

キ」中の水銀量とその水俣病発症性とは関連があるように思われる。

(二)同員から含硫水銀結晶の分離に成功したが、これと発症機構との関係はこれからの研究課題だ。

と説明した。また水産庁からは「海底魚貝類の水銀含有量分析の結果、水俣湾をはなれるにしたがつて減少する傾向が明らかになった。室内実験によるとプランクトンの培養試験の結果体内に水銀を蓄積することも判明した」と報告され午後五時半散会した。